

主日礼拝

2020年12月6日
午前10時30分

前奏 「天より天使の群れ来たり」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「時は満ち、神の国は近づいた。
悔い改めて福音を信じなさい。」 (マルコ1:15(13))

点火 242-1・2

「主を待ち望むアドヴェント」1、2節

リタニー「イエスさま、来てください」

司式者：神さま、今も戦争でたくさんの方が
苦しめ、悲しんでいます。

みんな：イエスさま、来てください。
世界は待っています。

司式者：神さま、山も海も傷つき、苦しんでいます。

みんな：イエスさま、来てください。
世界は待っています。

司式者：クリスマスの日、イエスさまが
わたしたちの世界にお生まれになりました。

みんな：イエスさま、来てください。
世界は待っています。

司式者：イエスさまは、わたしたちに希望と慰めを
あたえてくださる神さまからの贈り物です。

みんな：神さま、ありがとうございます。

司式者：世界に喜びと希望が広がるように。

みんな：わたしたちに何ができるかを考えさせて
ください。

司式者：わたしたちを平和の器としてください。

みんな：主イエス・キリストのお名前によって、
アーメン。

祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出されたまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 イザヤ書 59:12～20 旧約(新共同訳) P1159

御前に、わたしたちの背きの罪は重く
わたしたち自身の罪が不利な証言をする。
背きの罪はわたしたちと共にあり
わたしたちは自分の咎を知っている。
主に対して偽り背き
わたしたちの神から離れ去り
虐げと裏切りを謀り
偽りの言葉を心に抱き、また、つぶやく。
こうして、正義は退き、恵みの業は遠くに立つ。
まことは広場でよろめき
正しいことは通ることもできない。
まことは失われ、悪を避ける者も奪い去られる。

主は正義の行われていないことを見られた。
それは主の御目に悪と映った。
主は人ひとりいないのを見
執り成す人がいないのを驚かれた。
主の救いは主の御腕により
主を支えるのは主の恵みの御業。
主は恵みの御業を鎧としてまとい
救いを兜としてかぶり、報復を衣としてまとい
熱情を上着として身を包まれた。
主は人の業に従って報い
刃向かう者の仇に憤りを表し
敵に報い、島々に報いを返される。
西では主の御名を畏れ
東では主の栄光を畏れる。
主は激しい流れのように臨み
主の霊がその上を吹く。
主は贖う者として、シオンに来られる。
ヤコブのうちの罪を悔いる者のもとに来ると
主は言われる。

賛美 244 「キリストは明日おいでになる」

Tomorrow Christ is coming
詞: Fred Kaan, 1929- POTTER
曲: Doreen Potter, 1929-1980

1 キ リ ス ト は あ す お い で に な る、
2 こ の す 世 は い ま も の り ら た ま ず、
3 あ す を も た な い ひ と ス ビ マ と に も、
4 あ み 子 キ リ ス ト は い

こ の 世 が や み に と ざ さ れ て も、
み の 子 は こ の や ら れ る の う ま や の な か、
み か の ち の あ パ ン し が て あ い あ い の ら だ、
み の ど り ご と し て お お い で に な る。

き く ま は あ ふ れ よ ち な け て も、
じゆ く の い は に 主 し が せ し ぎ づ に け る が、
す そ の み か の ほ ら だ が を は ら め た す た め は、
そ の や く そ

き の う こ ら れ た み 子 の よ う に、
は か の お さ れ た と か き え の り ま だ、
世 か に ひ と さ は れ た も か え の み ま だ、
ま た た き た ち を も う ふ か ち つ ら だ、
わ た た し た を も

説教 「罪の現実から救う者」

聖餐式 牧師のみ

賛美 444 「気づかせてください」

詞: 木原葉子, 1964- 曲: 米野みちよ, 1968- BIAG

1 きづかせてください、 しらずにおかした つみ-を。
2 うけさせてください、 あなたのまことの いのち。▶
3 あゆませてください、 まことのへいわの みち-を。

あたえてください、 つみをみつめる ちからを。
▶ きかせてください、 あたらしいあいの うたを。▶
かたせてください、 ふせいとあくの せかいに。

た た せ て くだ さい、 あ の と な り び と の ま え に。 そ し て
▶ あ わ せ て くだ さい、 ま た あ の - と な り び と に。 そ し て ▶
生 か し て くだ さい、 か み の こ ど も た ち と し て。 と も に

た っ て くだ さい、 主 よ、 わ た し た ち の あ い だ に。
▶ た っ て くだ さい、 主 よ、 わ た し た ち の あ い だ に。
た っ て くだ さい、 主 よ、 わ た し た ち の あ い だ に。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「天のかなたから我は来たれり」
(J.S.バッハ)

司式 袁 紅
説教 向井 希夫牧師
奏楽 玉理 照子
助餐 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。